

「小樽市公設青果地方卸売市場事業経営戦略(素案)」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

1 意見等の提出者数	1人
2 意見等の件数	6件
3 上記2のうち計画等の案を修正した件数	0件
4 意見等の概要及び市の考え方	

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	「2. 将来の事業環境(1)取扱高(t)の見通し」で、今後も同様の取扱高の維持を見込んでいますが、その想定は危険だと思います。 近所で、農家の高齢化や離農が進んでいる話も聞きますし、新型コロナウイルスの影響で社会事情が大きく変化してもいます。取扱高(t)が大きく減少する最悪のケースを想定して見直しを行った方が無難ではないかと思えます。	本市場は全道・全国から青果物を集荷し、小樽・後志圏内に供給している消費地市場としての役割が多い卸売市場です。いただいた御意見にある、農家を取り巻く情勢や社会事情の変化により、取扱高(t)には多少の変動はあると思いますが、本市場の主な取引先である小売店からの青果物の需要は安定しており、過去3年間の平均値を維持でき、大きく減少することは無いものと考えております。また、使用料収入についても、取扱高(t)が大きく減少しない限り使用面積も大きく減少することは無く、令和2年度と同水準の収入を維持できるものと考えております。
2	上記同様、「(2)使用料収入の見通し」についても、最悪のケースを想定した方が無難だと思います。	なお、本経営戦略は、卸売市場を取り巻く情勢等を踏まえ適宜修正を行うこととしており、今後の状況の変化により取扱高や使用料収入が大きく減少した場合は、見直しを行うことも考えております。
3	「3. 経営の基本方針」で、「地域の流通ニーズに即した」と言う受動的方針を立てていますが、小樽の発展のために、取引高の増加を目指すべく、地域の流通ニーズを増やすような取り組みを行うなどの能動的方針を盛り込んで欲しいと思えました。	御意見をいただいた流通ニーズの増加につきましては、「4(3)①今後の投資についての考え方・検討状況」に記載のとおり、小樽・後志圏内の飲食事業者等への販路拡大について、市場関係者と取り組みを進めたいと考えております。 また、本市場の余剰スペースは、市場棟2階で空室となっている数部屋と市場敷地の一部があり、その有効活用策として賃貸・売却により市場経営の財源確保を図りたいと考えております。
4	「4. 投資・財政計画(収支計画)(2)投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明②収支計画のうち財源についての説明」で「今後、余剰スペースが発生した場合、賃貸や売却により財源確保を図る」とありますが、そもそも余剰スペースが発生しないように、上記の流通ニーズ開拓のような本業を強化する取組を行って欲しいと思えました。	
5	「(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要③投資以外の経費についての考え方・検討状況」で「指定管理者制度の導入により職員給与費の圧縮が可能と考えている」とありますが、安易な人件費の削減は、職員のモチベーション低下を招くと思います。むしろ、待遇改善を進め、精力的に本業強化に貢献する職員を確保の方が良いように思います。	本市では、民間活力を利用した指定管理者制度が導入することにより、市直営の場合よりも人件費等のコストダウンと柔軟な管理運営が期待でき、市民サービスの向上につながるものと考えております。 本市場で指定管理者制度を導入した場合も同様の効果が期待できますが、導入に当たっては、いただいた御意見も参考にしながら進めたいと考えております。
6	様式2号(法非適用企業)の投資・財政計画で、「その他」が大きく数値を占める項目が多いように思います。「その他」のうち、最も多い項目だけでも表示して頂けると、市民に対し高い信頼感が得られると思えました。	この様式は総務省のガイドラインに基づいたものであり、収益的収入の営業外収益における主項目である市場関係業者からの共用維持費負担金や、収益的支出の営業費用における主項目である市場の管理費は、「その他」に含めるように示されております。

* 同じ内容の意見が複数ある場合は、「意見等の概要」の最後に件数を記載してください。

* 計画等の案を修正した場合は、「市の考え方等」の欄に修正箇所を併せて記載してください。